

食品×ITの専門情報誌

食品ITマガジン

無料
ダウンロード

食品ITマガジンは内田洋行が発行する食品業界のIT導入事例や、食に関連するお役立ち情報、最新の業界動向などを紹介する情報誌です。各分野で活躍する有識者コラムやITで自社のデジタル化に成功したお客様インタビューなど、様々な情報を発信しています。ぜひ、ダウンロードしてご覧ください。

最新
vol.22 配布中

バックナンバーも
ご用意しています！



最新号のダウンロードはこちら

<https://pages.uchida.co.jp/foodsit-v22-dl.html>



バックナンバー

<https://www.uchida.co.jp/system/itmagazine/>



【お問い合わせ】

株式会社内田洋行 食品ITフェア2025オンライン事務局
juchidafair@uchida.co.jp

セミナー申込はこちらは こちら 下記 URL よりご登録をお願いいたします。

<https://www.uchida.co.jp/system/f-itfair/UCD/>

お申込み時に「お申込み受付のお知らせ」をメールでお送りいたします。
ご視聴方法につきましては、開催当日までにメールにてご案内いたします。



各セミナーはオンデマンド配信のため、開催期間中いつでもご視聴可能です。

※セミナー内容は都合により変更になる場合がございます。最新情報はウェブサイトをご確認ください。
※競合企業様や個人の方のお申込みはご遠慮いただきますようお願いいたします。

UCHIDA

FOODs IT fair 2025 Online

食品ITフェア2025 オンライン

ITの力を食品業の力に

食品業界にデジタル変革を

食品業の課題解決セミナーを **20本以上** オンデマンド配信
開催期間中いつでもご視聴いただけます

開催日

2025 3/11 (Tue)
~3/23 (Sun)

セミナーテーマ

業界動向・DX・ロボティクス・政府施策・セキュリティ・サプライチェーン・
外国人雇用・食品表示・食の安全安心・マーケティング/ブランド戦略・最新事例

参加方法

参加無料・事前申込制(2025年1月中旬より申込開始予定)

主催

株式会社内田洋行

協賛

株式会社内田洋行ITソリューションズ、エコー電子工業株式会社、株式会社オーユーシステム

※セミナー内容はやむを得ず変更となる場合がございます。最新情報はウェブサイトをご確認ください。

申込
URL

www.uchida.co.jp/system/f-itfair/UCD/



セミナープログラム

お申込みいただきますと、3/11～3/23の期間中全てのセミナーを視聴することができます。

S-1 業界動向 ロボティクス

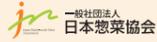
中小食品製造業の未来を変える！ “世界初”惣菜盛り付け全工程のロボット自動化作例

日本惣菜協会は、これまでロボフレ・合本主義の考えのもと、ユーザー企業のべ51社、主要ベンダー企業のべ59社とともに、惣菜盛り付け工程のロボット化に取り組んできました。惣菜製造の中でも、最も人手の掛かる惣菜盛付工程において、世界初[®]で、全工程のロボット化・現場実装に成功した詳細を代表ユーザー企業でありますマックスバリュ東海様の取り組み事例を通してご紹介します。

※日本惣菜協会調べ



一般社団法人日本惣菜協会
AI・ロボット推進イノベーション担当フェロー
荻野 武 氏



マックスバリュ東海株式会社
執行役員
商品本部デリカ商品統括部長兼ダイバーシティ推進室長
遠藤 真由美 氏



(モデレータ)
IoTNEWS代表 / 株式会社アールジーン
代表取締役
小泉 耕二 氏



S-2 業界動向 DX

食品製造業スマート化の拠所 スマートマニュファクチャリング構築ガイドライン を活用してこれからの切り拓く！

食品製造業を含む製造業のスマート化・DXは急速に進んでいます。そのレベルはまちまちです。スマート化において重要なのは「何が正解」かではなく、自社がどのレベルにあり、どのような未来を描き何をしておくか、です。本講演では、「スマートマニュファクチャリング構築ガイドライン」の執筆者である神山氏より、食品製造業の課題を踏まえ、その拠所や進め方、活用方法を解説いただきます。



株式会社日本能率協会コンサルティング
デジタルイノベーション事業本部
DXコンサルティング推進室 室長 シニア・コンサルタント
神山 洋輔 氏



S-3 業界動向 政府施策

食品産業の生産性向上 ～持続可能な食料システムの構築に向けて～

食品産業は、農林水産業とともに国民への食料の安定供給において極めて重要な役割を果たしています。人口減少社会において、食料システムの持続性を高めるためには、食品工場におけるDX化や自動化等の前向きな設備投資を促進し、食品産業全体の生産性を向上させることが急務となっており、農林水産省が展開する関連政策をお伝えします。



農林水産省 新事業・食品産業部
食品製造課 原材料調達・品質管理改善室
室長
阿辺 一郎 氏

S-4 業界動向 セキュリティ

定量的評価ツールを活用した、 グループ横断的セキュリティ施策の推進

国内・海外におけるグループ各社のセキュリティ対策を個社ごとに定量的に評価し、“弱み”は是正に向けて効果的にアプローチした事例について、サイバーセキュリティ戦略室の吉田氏よりご説明いただきます。



日清食品ホールディングス株式会社
グループITガバナンス部
サイバーセキュリティ戦略室 プロフェッショナル
吉田 佳弘 氏



S-5 業界動向 サプライチェーン

持続可能な加工食品物流に向けて ～キューピーの物流改革から革新～

2024年問題の真っ只中、運べなくなる危機！、「ドライバーに嫌われる加工食品」の持続可能な物流の構築に向けたキューピーの物流改革。個社の改革からメーカー連携による水平展開、サプライチェーン全体の物流改革に向けた製・配・販3層による垂直連携、行政・業界団体との連携による物流商慣習の見直し。キューピーの革新に向け、業界の最先端をいくASN活用(事前出荷情報)による検品レス等の取組みをご紹介します。



キューピー株式会社
執行役員 ロジスティクス本部 本部長
前田 賢司 氏



S-6 業界動向 外国人雇用

外国人雇用のいろはセミナー ～在留資格の基本・育成就労制度・採用の流れ～

労働力不足は多くの企業にとって切実な問題です。この人手不足問題に対して、外国人雇用に取り組んでいる企業も多いのではないでしょうか。当セミナーでは、外国人雇用の基礎である在留資格の種類や、24年に閣議決定された「育成就労制度」の他、外国人労働者の採用の流れについて、入管手続きのプロである申請取次行政書士が詳しく解説します。



社会保険労務士法人・行政書士事務所
ロイヤル総合研究所 代表
森崎 和敏 氏



S-7 業界動向 食品表示

紅麹問題と機能性表示食品表示制度の改正

2024年3月に紅麹製品の健康被害を受けて、本製品が機能性表示食品だったことから、国は制度の見直しを進めて関連法令(消費者庁・食品表示法の食品表示基準、厚生労働省・食品衛生法の施行規則)を改正し、9月1日に施行しました。改正ポイントは、機能性表示食品等の「健康被害の情報提供の義務化」「サプリメント形状食品のGMPの要件化」のほか、表示内容の改正、届出の際の新規成分の手続きなど多岐にわたり、概要をご紹介します。



一般社団法人Food Communication Compass代表
消費生活コンサルタント
森田 満樹 氏

S-8 DX事例 基幹業務

守山乳業に聞く、時代の変化に応じた 基幹システム刷新PJ成功の秘訣

1918年(大正7年)に神奈川に創業し、日本で初めてビン入り珈琲牛乳を販売した老舗企業、守山乳業様。システムの老朽化に伴い、2023年にシステムの大改変を行いました。SCM、販売、製造、購買、在庫、会計、BI、GW、WFなど、各分野での取り組みや突き当たった壁、成果についてお伺いします。



守山乳業株式会社
取締役 管理部 兼
DX推進部 部長
山口 智 氏



守山乳業株式会社
DX推進部 課長
吉富 由美子 氏

S-9 DX事例 工場ペーパーレス化

即断、内製、そして現場力:ペーパーレス化の舞台裏 ～製造実績データをリアルタイムに自動集計&即分析～

製造現場のDXには、即断力、現場の意志、内製化、経営層と現場の連携がキモです。短期間で成果を上げたプロジェクトのツボをご紹介します。

- ・生産管理統括MGの決断力や経営層への説得
- ・ITベンダーとの協働
- ・帳票開発担当者のやりがい醸成
- ・現場作業者の育成・定着化の工夫など

製造業特有の課題解決法や現場のリアルな声を共有し、ペーパーレス化とプロジェクト推進のヒントをご紹介します。



株式会社コープミート千葉
生産管理部
統括マネージャー
橋本 健太郎 氏



株式会社コープミート千葉
生産管理部 原料・入庫グループ
購買チーム担当主任
宮内 克也 氏



(モデレータ)
株式会社東京システムリサーチ
ソリューション事業本部 営業部 部長代理 シニアコンサルタント
小澤 周 氏

S-10 DX事例 店舗・基幹業務

短期間で急成長! 洋菓子製造小売業 DADACA様のシステム構築成功ストーリー

2020年11月に設立し短期間に急成長を遂げた洋菓子製造小売業のDADACA様のシステム構築をお手伝いしてきた営業/SEが、そのポイントを順を追って分かりやすく解説します。

株式会社内田洋行ITソリューションズ

S-14

食品業における販売・生産・原価の製販一体統合パッケージ 基幹業務 「スーパーカクテルCoreFOODs」でDXのご支援

株式会社内田洋行 ICTリサーチ&開発部門 ティビジョン/
ビジネスソリューション開発部 ビジネスソリューション開発課1係 **安江 直人**

S-15

食品業の物流業務属人化を解消! 食品ロス、 物流業務 人手不足問題にも効果大! 低コストで実現できる 「スーパーカクテルCore物流オプション」ご紹介

株式会社内田洋行
情報ソリューション事業部 ソリューション営業部 営業2課 担当課長 **松浦 祥**

S-16

品質情報の統合検索による品質保証業務の生産性向上 生成AI と製造業を中心とした生成AIの活用事例のご紹介

株式会社内田洋行
スマートインサイト事業部 インサイト推進部 特命部長 **山口了以**

S-17

トレーサビリティシステムを活用した、 トレーサビリティ 食品製造現場におけるDX化の改善事例

株式会社サトー
営業本部 ソリューション推進部 企画・推進グループ エキスパート **渡辺 真 氏**

S-11 DX事例 受注業務

受注業務の自動化に挑戦! 年間3,000時間以上の削減に 成功。生成AIを活用し人の判断含め完全自動化を目指す

西洋料理食材の企画開発・製造販売を手掛ける専門食材商社の株式会社マツヤ様では、RPAでWeb注文データの基幹連携を自動化し、年間3,276時間の効率化に成功しました。現在は受注業務の完全自動化に向けて生成AIの活用に取り組まれています。いかにして効果を上げたのか?完全自動化の手応えはどうか?対談形式でご紹介致します。



MATSUYA
株式会社マツヤ
システム管理室 室長
小嶋 康之 氏

ユーザックシステム株式会社
RPA商品戦略室長
上野 真裕 氏

S-12 マーケティング・ブランド戦略

会社を強くする食のブランドづくり

「品質には自信があるのに、うまくいかない」。経営の現場でよく聞く言葉です。品質が同じでも、選ばれる商品と、選ばれない商品があります。選ばれるのは、「強いブランド」です。では、どうすれば強いブランドが生まれるのでしょうか?強いブランドは、成り行きまかせではできません。戦略性と創造性をもって、つくりあげるものです。この講演では、食のブランドづくりの方向性を、調査データと実践例を交えながら考えていきたいと思います。



静岡県立大学
経営情報学部教授
岩崎 邦彦 氏

S-13 食の安全安心

記帳の自動化をどう進めるか

人手不足の昨今、生産現場は帳票記帳の自動化を進めることで、生産性の向上が見込めます。本セミナーでは、どうすれば生産現場から電卓やボールペンを無くすることができるかを解説します。工場責任者が、現場の生産性、歩留り等のデータを自動的につかむことで、責任者の本来の仕事である、生産性、歩留りの改善を進めることができるのです。



食品安全教育研究所 代表
河岸 宏和 氏

S-18

食品品質情報管理システム「食Quality」の ご紹介とお客様導入事例紹介

株式会社オーユシステム
AP2営業部 **白井 回 氏**

S-19

食品業様向け 複雑なシフトの自動作成と シフト/タスク 人員配置の最適化事例をご紹介

株式会社モーション 営業部
カスタマーサクセスチーム Optamoチーフデモンストレーター **前田 聡 氏**

S-20

FAX、紙書類データ化成功の秘訣! OCR 成功事例と、AIで進化した「DX OCR」のご紹介

株式会社ハンモック
DCS事業本部 営業部 **米野 雅士 氏**
営業開発部 部長 **中久保 直人 氏**

S-21

食品業界の事例で学ぶ! 業務効率化とデータ活用を データ連携 加速するノーコードのデータ連携手法とは

アステリア株式会社
パートナー第二営業部 **赤松 智彦 氏**